

図書館《私の使い方》

酒井 麻耶子



みなさんにとって図書館とはどのような場所ですか。どのくらいの頻度でどのように利用していますか。私にとって図書館とは、落ち着けるお気に入りの場所です。図書館に行けば、素敵な本に偶然出会えたり、家では渉らなかつた宿題も進んだり、勉強を頑張る他の学生さんを見て刺激されたりします。図書館で働かせて頂いて、一冊一冊の本の大切さと外大の図書館の魅力に気がきました。私のアルバイト経験を通してぜひ皆さんに知って頂きたいと思った京都外国語大学附属図書館の魅力を紹介したいと思います。

まず始めに、洋書の多さです。外大図書館の蔵書数は約53万冊で、その半分以上が洋書です。英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、ブラジルポルトガル語、中国語、日本語、イタリア語などの学内の専攻言語をはじめ、ロシア語、オランダ語、アラビア語、ハンガルなど多くの言語の書物があります。また、その言語圏の文学、歴史、芸術、社会科学関係を扱う本を多く収集しているのも外大ならではの魅力だと思います。私がよく利用するのは、第二閲覧室にある「Easy Readingコーナー」です。ここには、分かりやすい文法・語彙で書かれたドイツ語・フランス語・

ポルトガル語・スペイン語・イタリア語の絵本や小説が置かれています。他言語のハリー・ポッターなどの有名な本なども揃っているので気軽に楽しむことも出来ますし、第二・三言語の勉強の際にも役立つと思います。

次に書庫です。皆さんは書庫に入ったことはありますか。書庫には図書館カウンターで簡単な手続きをして入ることが可能です。図書館員が書庫の本を取りにいくことも出来ますが、ぜひ入庫してみてください。書庫に入るとそこには沢山の本が本棚にびっちりと並んでいます。初めて書庫に入られる方は、本の多さに驚きます。実際に書庫に入って本を探せば、探している本の他にも魅力的な本が沢山見つかることでしょう。

また、図書館をもっと知れば図書館の使い方も変わり、沢山の素敵な本に出会えると思います。図書館の情報が掲載されているこの図書館報やホームページを活用して図書館をもっと有効に利用してみてください。いつの間にか、図書館があなたにとってお気に入りの場所になっているかもしれません。

さかい まよこ（英米語学科3年次生）

